

旧小柴貯油施設の公園整備の進め方について

1 旧小柴貯油施設の概要

土地の所在	金沢区柴町外		
土地の面積	526,205㎡	うち	国有 511,859㎡ (97.3%) 市有 4,746㎡ (0.9%) 民有 9,600㎡ (1.8%) (75名の共有)
存置構造物等	建物	2,501㎡	(ポンプ室、変電所、事務所、倉庫等)
	貯油タンク	34基	(地上タンク5基、地下タンク29基)
	その他	パイプライン、地下トンネル等	

2 旧小柴貯油施設の経緯等

(1) これまでの主な経緯

昭和23年10月	旧日本海軍の施設を米軍が接收
平成16年10月	日米合同委員会において返還合意
平成17年12月	陸地部分全域と制限水域の一部が返還
平成19年12月	金沢区米軍施設建設・返還跡地利用対策協議会要望
<p>【要望項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境・緑の保全について 道路・交通対策について 公園のあり方について 区民意見を踏まえた計画策定について 	
平成24年9月	国から本市に対し、国有地の無償貸付による処理について提案
10月	金沢区米軍施設建設・返還跡地利用対策協議会開催
11月	国からの提案に対する本市回答
平成25年2月	国有財産関東地方審議会の答申を受け国が利用方針決定

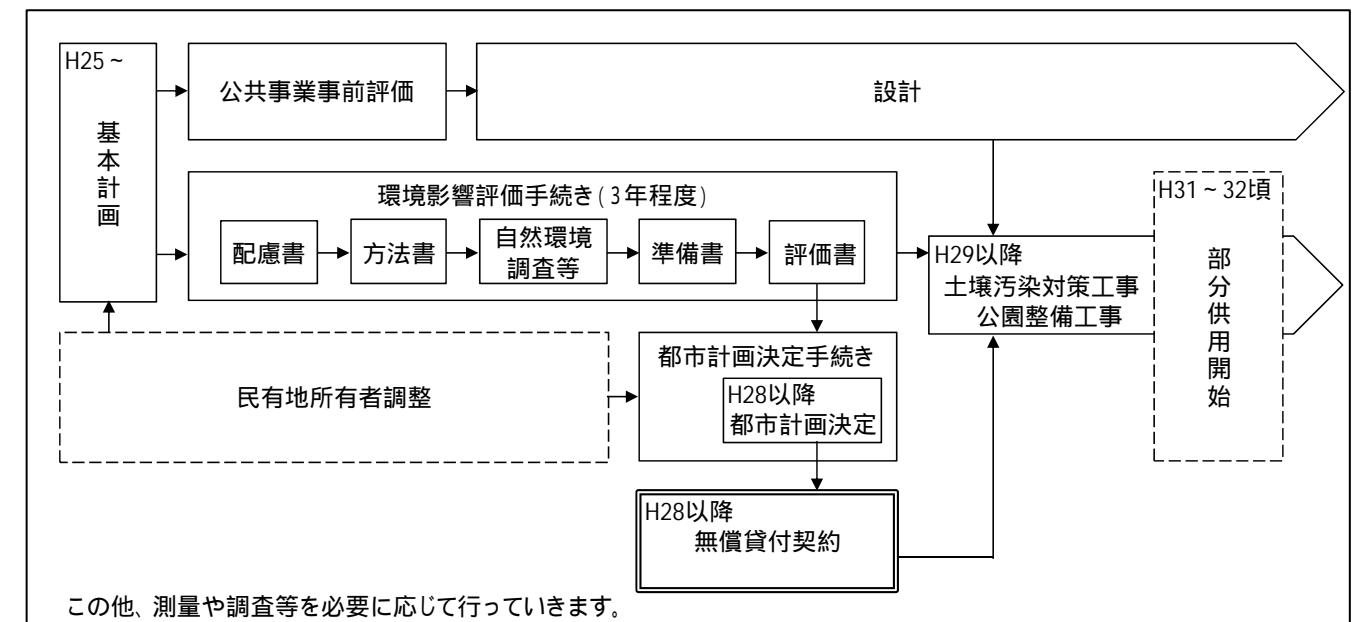
(2) 跡地利用計画の検討経過

平成18年1～3月	米軍施設返還跡地利用指針の市民意見募集
平成18年6月	米軍施設返還跡地利用指針
平成19年1～2月	横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画の市民意見募集
平成19年3月	横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画
平成20年3月	小柴貯油施設跡地利用基本計画（都市公園利用）
平成20年5～6月	小柴貯油施設跡地利用基本計画の市民意見募集
平成22年11月	横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画の市民意見募集
平成23年3月	横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画一部改定

3 土壌汚染対策

平成19年～平成21年度	国が、土壌汚染対策法に準じ土壌汚染調査を実施
平成23年度	国が、汚染土壌対策について一部着手（湧水により中止）
平成24年度	国が、地下水汚染対策でモニタリング調査を実施 (17地点で調査を実施、4回/年。1か所で基準値超過を確認)
平成25年度	国が、本市の指導により引き続きモニタリング調査を継続 柴側ゲート付近の観測点で基準値超過：基準値ベンゼン0.01mg/l以下のところ0.023mg/lを確認。

4 今後の流れ（想定）



5 公園基本計画の検討について

(1) 公園計画のコンセプト（小柴貯油施設跡地利用基本計画（平成20年3月））

公園計画の方向性	その他計画に際して必要な視点
<ul style="list-style-type: none"> 金沢本来の自然を保全・再生した自然散策空間 周辺の緑との連携を生み出す開港150周年の森 温暖化に配慮した生活の体験・学習の場 環境共生型の生活体験空間 自然エネルギーの積極的活用と防災機能の確保 リサイクルパーク 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や地権者の意見の尊重 市民参加による公園づくり及び記念植樹 市民参加による既存樹林地の保全 次世代へ繋げるストック機能の確保 都市農業との連携

(2) 検討の進め方について

- ・跡地利用基本計画に基づいて、これまでに寄せられたご要望やご意見を踏まえるとともに、対策協議会等でもご意見を伺いながら検討を進めていきます。
- ・策定にあたっては、市民意見募集を行う予定です。